

平成30年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
77	ふたば未来学園高等学校	全日制

I 期選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒	選 抜 資 料				備 考
			志願理由書	調 査 書	面 接	そ の 他	
総合学科	30% 程度	<p>本校は、建学の精神「変革者たれ」、校訓「自立」「協働」「創造」のもと、自らが新しい生き方、新しい地域、新しい価値の創造者となり、自らと社会を変革していく人間を育成することを教育目標としている。そのため、本校のI期選抜においては、次のA型またはB型に該当する生徒を求める。</p> <p>A型（学業） 各教科学習の成績が優良で、志を高く持ち、本校での主体的・探究的な学びにより、高い学力を身につけ、国公立大学等の上級学校への進学を目指す者。</p> <p>B型（スポーツ） トップアスリート系列を志願し、対象とするいずれかの競技種目で顕著な競技実績を有し、入学後も専門的な理解と高度な技術の習得を図ることにより、生涯を通して競技の振興発展に寄与しようとする者。</p>	<p>本校への志願動機及び入学後の希望系列、将来への抱負・進路希望、その実現のためどのような高校生活を送りたいか等について本人が記入する。</p> <p>また、大会・コンクールの実績等について、具体的かつ正確に記入する。</p>	<p>「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。</p>	<p>個人面接を実施する。</p> <p>面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容(国語・数学・英語)を含む。</p> <p>面接については段階評価する。ただし、学習活動の成果を問う内容については点数化する。</p>	<p>思考力、判断力、表現力等を問う小論文を実施する。</p> <p>字数は400字程度とし、点数化する。</p> <p>B型で志願する者には各種目ごとに実技試験を実施する。</p> <p>実技試験については、段階評価する。</p>	

平成30年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
77	ふたば未来学園高等学校	全日制

Ⅱ 期選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	面 接		
総合学科	(160)	5教科とする。 各教科の満点を50点とし、合計250点満点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とする。 「特別活動等の記録」は、内容を精査するが点数化はしない。	すべての志願者に個人面接を実施する。面接については、段階評価する。 トップアスリート系列を志願する者には、実技試験を実施する。 競技種目については別に指定する。 実技試験については、段階評価する。	同等とする。	

Ⅲ 期選抜

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
総合学科	「各教科の学習の記録」は135点満点とする。 「特別活動等の記録」は、内容を精査するが点数化はしない。	すべての志願者に個人面接を実施する。面接については、段階評価する。 トップアスリート系列を志願する者には、実技試験を実施する。 競技種目については別に指定する。 実技試験については、段階評価する。	思考力、判断力、表現力等を問う小論文を課す。 字数は400字程度とし、点数化する。	

平成30年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
77	ふたば未来学園高等学校	全日制

連携型選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	選 抜 資 料			備 考
		調 査 書	面 接	そ の 他	
総合学科	50% 程度	「各教科の 学習の記録」 は、135点 満点とし、「特 別活動等の記 録」は55点 満点として、 合計190点 満点とする。	個人面接を 実施する。 面接の内容 には、中学校に おける学習活 動の成果を問 う内容（国語・ 数学・英語）を 含む。 面接につい ては段階評価 する。ただし、 学習活動の成 果を問う内容 については点 数化する。	すべての志願者は、本校所定の様式による志願理由書を作成し提出する。 志願理由書には、本校への志願動機及び入学後の希望系列、将来への抱負・進路希望、 その実現のためどのような高校生活を送りたいか等について本人が記入する。 また、大会・コンクールの実績等について、具体的かつ正確に記入する。 すべての志願者に、思考力、判断力、表現力等を問う小論文を課す。 字数は400字程度とし、点数化する。 トップアスリート系列を志願する者には、実技試験を実施する。 競技種目については別に指定する。 実技については段階評価する。 ただし、ビクトリープログラム及びJFAアカデミー福島に該当する者は、実技試験を 免除する。 ※ビクトリープログラム 「世界にはばたく選手・リーダー」の育成を目的とした、バドミントンにおける中 高6年間の一貫指導プログラム ※JFAアカデミー福島 「世界トップ10を目指した個の育成」を目的とした、日本サッカー協会（JFA） が行うロジング（寄宿）形式による中高一貫でのサッカーエリート養成システム	